

平成28年度 総務部
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
地方分権の進展により、地方自治体に自己決定・自己責任が求められている中において、市の業務の総合的な管理と職員の育成を進め、適正かつ公正で、透明性が高く、効果的な行政を進める行財政運営の基盤を確立する。	1.行財政改革の推進	・市が将来にわたり持続的に発展するために、行財政改革を推進する。	・「新行政改革実行計画」を施行し、進捗管理を行う。 ・「行革フォローアップ計画」の総括・まとめを行う。	・新行政改革プランを5月に施行し、議会総務常任委員協議会に報告したのち、ホームページで公表した。 ・進捗管理は中間と期末で実施した。 ・行革フォローアップの総括、まとめも5月に実施し、議会総務常任委員協議会に報告したのち、ホームページで公表した。	A	
	2.市制20周年記念事業の実施	・平成29年4月に市制20周年を迎えるにあたり、記念式典のほか、市民参加の各種イベントや事業を行う。	・20周年実行委員会や検討部会において記念事業等を決定する。 ・平成28年度中に予定しているプレ事業、記念事業を実施する。	・20周年実行委員会及び検討部会を開催し、記念式典開催に向けた調整を進めるとともに、20周年ロゴマークやカウントダウンボード作成などの各種記念事業を実施した。	A	
	3.固定資産台帳(公会計)の整備	・現在運用している公有財産管理システムを基に、財産所管課における公有財産の現状把握を促進し、本市の固定資産台帳の整備に取り組む。	・公会計について、庁内への周知及び固定資産台帳作成に必要なヒアリング等を行う。	・対象課にヒアリングを実施し、台帳整備に取り組んだ。	B	・庁内への周知及び台帳更新時に登録資産の精度向上を図る。

平成28年度 総務部
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
	4.ストレスチェックの実施	・近年、メンタル不調による休職者の増加が社会問題化する中で、その対策の一環として、労働安全衛生法が改正され、事業主の義務として、ストレスチェックを実施する。	・近隣市等の情報収集を行う。 ・実施方法の検討を行う。 ・衛生委員会での協議を行う。	・11月にストレスチェックを実施した。(受検者723名、受検率97.6%)	A	
	5.旅費規程の見直し	・旅費の日当について、国の定める日当額及び京都府下の各市の支給状況によると、比較的、本市は不支給エリアが狭く、距離に対して高額となっている。 日当の支給額の見直しを具体的に検討し、適当と思われる額の支給、または廃止を行う。	・京都府下における支給状況の把握及び課題点の整理を行い、日当の支給額の見直しを具体的に検討する。	・一般職員及び常勤特別職について、日当を廃止した。	A	
	6.情報セキュリティの強化	・情報セキュリティ強化のため、情報セキュリティ対策に取り組む。	・個人番号利用事務(基幹業務)系ネットワークの論理的分離等必要となるシステムを導入する。	・個人番号利用事務、行政業務、インターネット接続のネットワークを論理的に分離するシステムを構築した。	A	